

ヒメコスガシバ

学名 : *Synanthedon tenuis* Butler



成虫



羽化直前の蛹



粗皮下に潜む幼虫



粗皮削り

発生と生態

加害部位 : 樹幹

発育の経過 : 卵→幼虫→蛹→成虫(有翅、2対)

越冬形態 : 幼虫

発生回数 : 年1回。

ただし、発生のピークは5～6月と、7～9月の2回ある。

防除適期 : 薬剤散布…発芽前(3月中～下旬)

粗皮削り…冬季

防除対策 : 越冬密度を低下させるため、粗皮削りを励行する。